



~建築は、建てることより育てること~

# MIZUNO "旬感"だより

vol.193

令和5年3月号

さいかう  
催花雨

春の花の開花を  
促がすように降る雨

3月の異称=弥生(やよい)“いよいよ”を意味する“弥(いや)”と、草木が芽吹き“生い茂る”を意味する“生(おい)”から成る“弥生(いやおい)”の読みが変化したといわれています。

## 今月の言葉

『川と皮』



金田一春彦著“ことばの歳時記”より

向島といえば、戦前までは東京で指折りの桜の名所であったが、ひとりの地方出身の客が、土手の茶店に腰を掛けて名物の桜もちを食べていた。この客、桜もちの食べ方を知らぬとみえて、包んだ葉ごとムシャムシャほおぼってる。茶店のおかみが見かねて、「それは皮をむいて召し上がるものですが……」というと、客は「そうけえ」と言って、隅田川の方へ向きなおって食べはじめたという。

この笑話が東京人に受け入れられたというのは、たまたま東京では「皮をむく」ということばと「川を向く」ということばとが同じアクセントをもっているからである。ところが、たとえば、京都・大阪方面では「川を向く」と「皮をむく」とを区別して発音しており、この笑い話はうまく通じない。いま、東京のアクセントが標準アクセントの地位をしめているが、それは、東京のアクセントが他の地方のアクセントよりすぐれているということを実証してからのちにきめたことではなかった。

昔、5歳になる息子に“花に水をあげて”と言ったら、“えー！お鼻に水あげたら痛いよ!!”と目をパチクリして驚いていたのを思い出しました。その息子も今は、紙面右のデザイン記録を担当。随分成長したものだと思います(笑)。

裏面には桜餅の由来など、桜の話に掲載しています。花見に行かれる前に、ぜひそちらの記事も読んでみてください！



## 水野博旨

不動産も  
ミズノへ!

創業 1950 年の信用と実績を礎に、  
不動産業にも力を入れてまいります。  
土地 建物 どうぞお声掛けの程、  
よろしく申し上げます。

土地

建物

株式会社 ミズノ  
ホームページ →

新ホームページもご覧ください。

mizuno1950

で、検索  
又は →



空間設計 ミズノ  
ホームページ →

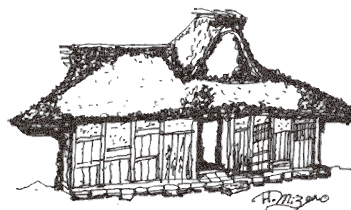
www.mizuno-architects.com



## 空間設計 ミズノ vol.71 のデザイン記録



駅前開発によって新しいビルが建築されていく裏には、計画地確保のため閉店・解体されていく建物が多くあります。時代の流れと言えは簡単ですが、どこか寂しいものを感じます。今回は、リニア中央新幹線開業にむけた名古屋駅の開発によって解体されてしまう建物です。名鉄レジャック、1972年にオープン。50年周年を経て、今年3月に閉店します。「レジャー」を1つのビルで「ジャック」という願いを込めて名付けたそうで、私も学生の頃からボーリングや飲食店を利用していました。お疲れ様でした。という気持ちを込めて絵を描きました。 スケッチ・文：水野真宏



### 伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の  
高い木造物を残すための専門家

外国は内開き、日本は外開きが一般的な玄関ドア。  
その理由は、文化と風土が関係しています。



まず大きな理由として、日本は玄関で靴を脱ぐ習慣があるので、扇状に開くドアが内側に開くと置いてある靴が邪魔になります。外国に比べて一軒あたりの面積が狭いため、効率よく玄関のスペースを確保するには外開きが都合よいのです。他、雨風が多い気候ですので、できるだけ家の中に雨粒や外のホコリなどを入れないようにするため、地震が発生した時に内側から開けやすく避難しやすいともいわれています。また、来客があった際に扉の分だけお客様が下がることにはなりますが、この距離感がお互いお辞儀をするのにちょうどよいという、日本人らしい理由もあるようです。



欧米など外国で内開きが主流なのは、靴を脱ぐ習慣がありませんし、何より防犯上の理由が大きいようです。不審者が家に侵入しようとしたとき、体重をかけてドアを抑えたり、家具などを置いてガードしたりできるからです。そういえば、映画でこんなシーンを度々目にしますね。日本でも、まだ城門や武家屋敷しか玄関を作ることができなかった頃は同じ理由で内開きだったそうです。

地域のみなさまの

# 『一隅を照らす』作品展

2023年 3月 24日<sup>金</sup>～26日<sup>日</sup>  
10:00～17:00

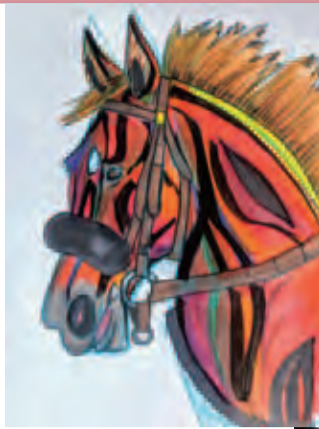
場所 | 株式会社ミズノ 本社 1階 ヴィレポヌール  
(名古屋市港区)

※地下鉄名港線 東海通駅 1番出口より徒歩3分



本社1階ヴィレポヌール

“ヴィレポヌール=本当の幸せ”と名付けたこの場所は、コンサートや展示等の文化発信を行うメセナイイベントや、お客様との打合せに使用しています。創業～18年前まで家具工場だったこの場所。家具職人だった先代が日々愛用した数々の道具の展示もしており、随時ご観覧可能です。



絵画・彫刻・陶芸  
ローズウィンドウ  
バードカービング  
など、様々な作品  
が並びそうです！

締切りは3/15(水)!!  
**作品募集**  
しています！

コロナ禍で作りためた  
自慢の作品をこの機会に  
お披露目しませんか？

現在の代表 水野の  
陶芸作品もお披露目  
するかも！



(株)ミズノ創業者の遺作の木彫、  
出品いたします。お楽しみに！

絵画・工芸・書道・写真など…  
ジャンルも年齢も問いません。  
お電話又はメールにて、ご連絡下  
さい。既に小学生からご年配の方  
まで、色々な年代の方から申込み  
いただいています。まだスペース  
はございますので、あなたの作品  
をお待ちしています！

【作品の搬入・搬出はご自身にてお願い致します。】

## 桜のはなし

日本人にとって、春の花見は冬の  
寒さに耐えたご褒美のような、特  
別な楽しみです。花を愛で、桜の  
話にも花を咲かせて下さい！



今や花見といえば“桜”ですが、もともと奈良時代は“梅”を愛でていました。日本最古の和歌集『万葉集』では、桜を詠んだ歌が43首に対し、梅を詠んだ歌が110首以上あります。時代が進み、平安時代の『古今和歌集』には桜の歌が70首、梅の歌が18首ですので、平安時代にはすでに桜が親しまれるようになっていたことがわかります。

この頃、遣唐使が廃止されたことで、日本古来のものが注目されるようになってきたようです。ただ、この頃の花見は花を愛で、咲き具合から作物の豊凶を占うもので、農耕民族の日本人にとって生存に関わる重要な年中儀礼でした。

庶民が現代に通ずる花見を楽しむようになったのは江戸時代からのことで、それまでは貴族だけが楽しめるものでした。現在も東京に桜の名所が点在していますが、三代将軍徳川家光が東京・上野の菩提寺である寛永寺に桜を植えたのが始まりです。その後、八代将軍吉宗が飛鳥山や隅田川の土手に植え、江戸っ子たちはこぞって弁当を持参し、花の下で歌や踊りなどを楽しんだようです。花見団子や桜餅もこの頃から親しまれたとか。

花見団子の3色の意味を知っていますか？  
“ピンクは春(桜の花)、白は冬(雪)、緑は夏(新緑)”を表現しているそうです。「あれ？秋は？」と思った方もいますよね。なんと、秋がないのは「秋ない」→「飽きない」という言葉遊びが入っているという説があるんですって。こういう遊び心、粋ですね！

そして、桜餅は東京墨田区にある長命寺が由来といわれています。お寺の門番をしていた山本新六が隅田川の桜が散った後、大量の落ち葉の掃除が大変だったため、この桜の葉を使って何かできないかと考えた末にできたのが桜餅。餡を小麦の生地で包んだものを樽で塩漬にした桜葉で巻き、長命寺へ墓参りに来る人へのおもてなしとして作ったのがはじまりで、試しに花見時に寺の前で売って見たら大変人気になったそうです。今も“山本や”として、この桜餅だけで300年営業を続けておられます。



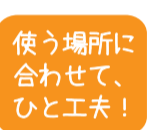
## プラスチック問題、一人一人ができること

日常生活で使うプラスチック製品で、その役目は終えたけれど、まだ何かに使えそう？と思いつつ捨ててしまうことがあります。今回は身近なものでオススメの再利用方法をご紹介します！



歯ブラシ  
↓  
掃除用ブラシ  
毛の長さをカットしたり先を曲げると使いやすさがアップします。熱湯に1分程つけると曲げやすいです。好みの角度にして冷水で冷やし固めます。

※熱湯につけたところは熱くなりますので、ご注意ください。



使う場所に  
合わせて、  
ひと工夫！



パン等の袋  
↓  
臭いを漏らしたくないものの保存

パンなど乾燥を避けたいものに使われるポリプロピレン製の袋は丈夫で臭い(気体)を通しにくいのです。生ごみ、車内や旅行中に臭いを出したくないものを入れるのに活用できます。

捨てる前に、用途を変えて再利用する！

## 株式会社ミズノ・空間設計ミズノのご紹介

住宅や店舗の建築・リフォーム・リノベーション等の設計～施工監理まで承っております。本社は港区七番町に、設計部・空間設計ミズノ(一級建築士事務所)は東区の名古屋陶磁器会館内に事務所があります。どちらの場所でもご相談が可能です。夜間や土日祝日、お子様連れでも大丈夫です。(相談は無料です【要予約】)



港区・本社



東区・名古屋陶磁器会館

詳しい会社情報や施工例は  
ホームページでご覧いただけます。



住宅・店舗の設計・施工・監理

株式会社 **ミズノ**

〒455-0001  
名古屋市港区七番町5丁目3番地  
TEL: 052-652-6886  
FAX: 052-661-0653  
Web: www.mizuno1950.co.jp  
Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

☎ 0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。  
・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所  
空間設計 **ミズノ**

〒461-0025  
名古屋市東区徳川一丁目10-3  
名古屋陶磁器会館2階204号室  
TEL: 052-982-8316  
FAX: 052-982-8357  
Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計  
コンバージョン(用途変更)・など



・最寄りの駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)  
・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停